



ユトリエニュース

2023
2月号
NO.135

記念日カレンダー

これ知ってる?

めちゃ旨レシピ

季節の話題

知っ得?知っ得!

無料税務相談

2023年2月・第135号



記念日カレンダー

2月19日～雨水～

うすい

りっしゅん

けいちつ

雨水は二十四節気のひとつ。2月4日（2023年）の立春に続き、雨水の後は3月6日（同年）の啓蟄となります。雪が雨に変わり、積もった雪や氷が溶けて水になる頃、という意味。

2月はまだまだ寒さ厳しく地域によっては雪が深いところがあるものの、少しずつ寒さが和らぎ、雪が解け、草木が芽生え始めます。昔から、雪解け水で土壌が緩むことから、農耕の準備を始める目安とされてきました。春一番が吹くのもこの頃です。

道を歩いていると、梅の花を見かけるようになりました。寒さを乗り越えた後の暖かな春が待ち遠しい季節です。



これ知ってる?

イルミネーション

冬の寒さの中で見るイルミネーションは格別ですよ。澄んだ空気にキラキラと輝く美しさとともに、光に温かさを感じるせいでしょうか。

私たちを楽しませてくれるイルミネーション、その始まりは、マルティン・ルター（1483～1546）と言われていています。ルターはドイツの神学者で、宗教改革を行った人物として歴史の教科書にも載っています。

夜、森の中で輝く星を見て感動し、木の枝に沢山の蝋燭を飾って再現しようとしたとのこと。この頃はまだ蝋燭でしたが、白熱電球を発明したトーマス・アルバ・エジソン（1847～1931）は、研究所の周りを白熱電球で飾っていたそうで、電球でのイルミネーションはエジソンが世界初とされています。

日本で登場したのは、1903（明治36）年に大阪で開催された「第5回内国勧業博覧会」とされています。

それから120年、今やイルミネーションは街の商業施設から、京都のお寺、アミューズメントパークや植物園、雪国のかまくらに蝋燭を灯したもの、個人の住宅まで、身近に見ることができます。

昨今は、地域の住民や飲食店から集められた排油を利用したもの、グリーンエネルギー（太陽光、風力など自然エネルギーから発電／東京丸の内仲通りのイルミネーションなど）を利用するなど、環境に配慮する工夫がなされています。



Panasonic Builders Group | パナソニックビルダースグループ

ユトリエホーム

（太田建設株式会社 テクノ事業部）

フリーダイヤル 0120-318-093

ユトリエホーム 検索

メール: techno@yutoriehome.jp

www.yutoriehome.jp

太田建設はZEHビルダーです。



ZEH29B-00279-CTR

[本社] 〒277-0861 柏市高田1313-4 TEL.04-7143-0506 FAX.04-7144-3345

めちゃ旨レシピ

手軽にバレンタイン
～ チョコと卵だけのガトーショコラ ～



写真は直径7cmの
ココット型で焼き
ました。



《材料》 4人分

板チョコ ……3枚 (300g)
卵 ……3個
粉砂糖 (飾り用) ……適量

＝ 型の準備 ＝

溶かしバター ……少々
小麦粉 ……少々

1. 型に溶かしバターを薄く塗り、小麦粉をはたく。型を逆さにして叩き、余分な粉を落とす。
2. 板チョコを手で小さく割って、耐熱皿に入れてレンジでチンする (全体が凡そ溶けるまで)。泡立て器で滑らかになるように混ぜる。
※やり過ぎるとチョコの質が変わるため、小さな塊であれば少し残っていてもよい。
3. 卵を別の器に割入れ、よくかき混ぜたら、上記1のチョコに卵を数回に分けて混ぜ入れる。泡だて器でもったりするまで、泡立てるようにしっかり混ぜる。
※あればハンドミキサーでやるのがよい。
4. 上記3を型に入れるたら、型を少し上から何度かトントンと落として空気を抜く。180度に温めたオーブンで30分焼く。
5. 焼き上がり、冷めたら型から外し、皿に置く。粉砂糖を茶こしに入れて、上から全体に振る。
切り分けて召し上がれ！
※熱々で食べても絶品！

★色々なバリエーション★

- 細かく砕いたくるみなどのナッツ類やドライフルーツを生地に混ぜて
- 熱々で食べる時にバターをのせて
- 焼き上がり直後にラム酒やキルシュなどの洋酒を刷毛で塗って大人な味に
- ホイップクリームを添えて

季節の話題

旬の話題

いちげつ い

にげつ に

さんげつ さ

～ 一月往ぬる二月逃げる三月去る ～

「一月往ぬる二月逃げる三月去る」は、1月から3月までは行事が多く時間があっという間に過ぎ去っていくことを喩える昔からの言い習わしです。

新年を迎えた1月は正月 (元旦、七草粥、小正月、鏡開きなど) に始まり、2月の節分、3月の桃の節句、お彼岸などがあります。節気以外でも、成人式、建国記念日、卒業式、決算期と節目となる忙しい季節です。また、2月は28日、閏年でも29日と日数が少ないことも、より早く感じる要因でしょう。

1月はあっという間に行ってしまう、2月はあっという間に逃げ行く、3月はあっという間に去ってしまう。昔も今も、時の早さを感じる感覚は変わらないのかもしれません。

それにしても、調子よく、韻を踏んだ言葉遊びで時節を表す、昔の人の言葉に対する感性もさることながら、説得力がありますね。



無料税務相談

税のことって、わかり難いからと
つつい先延ばしにしていますか？

“税務・保険” 無料相談

対策は
万全？

★私はこれで、京都に行ってきました★

節約って、好きな何かをやめたり、我慢したり、結構努力が必要ですよ。でも、ちょっと生命保険を見直して整理するだけで、簡単に節約できちゃったりするんです。

場所：ユトリエホーム
(太田建設株式会社 本社2階)

参加費：無料 * 随時受付中！

生命保険を見直す、かしく使う

生命保険・節税に関するこんな“お悩み”ありませんか？

- 現在加入中の保険内容を良くご存知ですか？
- 意外と知られていない節税に関するお話を伝授します。
- 保険・税金を賢く活用すると家計が楽になるかも？
- そもそも相続税・贈与税のしくみをあまり知らない。
- 親族に資金援助（住宅資金等）をしたいけど、非課税はいくらまで？自分に合った対策を知りたい。

★随時受付中。ご連絡頂き日程をご相談させて頂きます★

我孫子市 N様邸 ～ 窓のリフォーム～

我孫子市N様邸のリフォームを行いました。元々ある窓の内側に新たに窓を設置し2重窓にする工事です。

元々あった窓はそのままに、内側にサッシを取付けて内窓を設置する工事が増えています。工事自体も大がかりなものではありません。

室温は窓から逃げる割合がとても高く、2重窓にすることで断熱性を高め、外からの騒音を減らす効果があります。結果として、エアコンの利用が減り、エコかつ経済的です。

施主様から、朝起きた時の室温が従来よりも暖かく、体感的に3度ぐらい違うのではないかとのお話がありました。真冬の今の季節だからこそ、より強く感じた様子でした。真夏にはどのような室温変化があるか、楽しみです。



立春を迎え、太陽の日差しが少しずつ明るくなり、梅が咲き、寒さとは裏腹に春に向かっていくことを実感します。

太陽の光を浴びるとセロトニンが脳内に分泌され、精神を安定させる効果があるそうです。寒さやコロナの影響もあって家にいる時間が増えがちですが、朝起きて30分ぐらいお散歩してみるのもいいかな、と思ったりしています。新年があけてまだ1ヶ月、色々とチャレンジしてみようという気概だけは十分あります。

さて、このコーナーの上の施工例にもあるように、内窓を設置するだけで、断熱性がかなり高まります。今ある窓の内側にサッシを取り付けて窓を入れるといった手軽な工事です。昨今は、小さなリフォームで大きな効果が得られる技術が多くあります。施主様からの反応がとてもよかったのでご紹介させていただきました。気になる方は、ぜひ一度ご相談ください。



代表取締役社長
太田 亨